

草の根活動の支援 過去支援先へのアンケート結果

2021年8月1日

日本水フォーラム

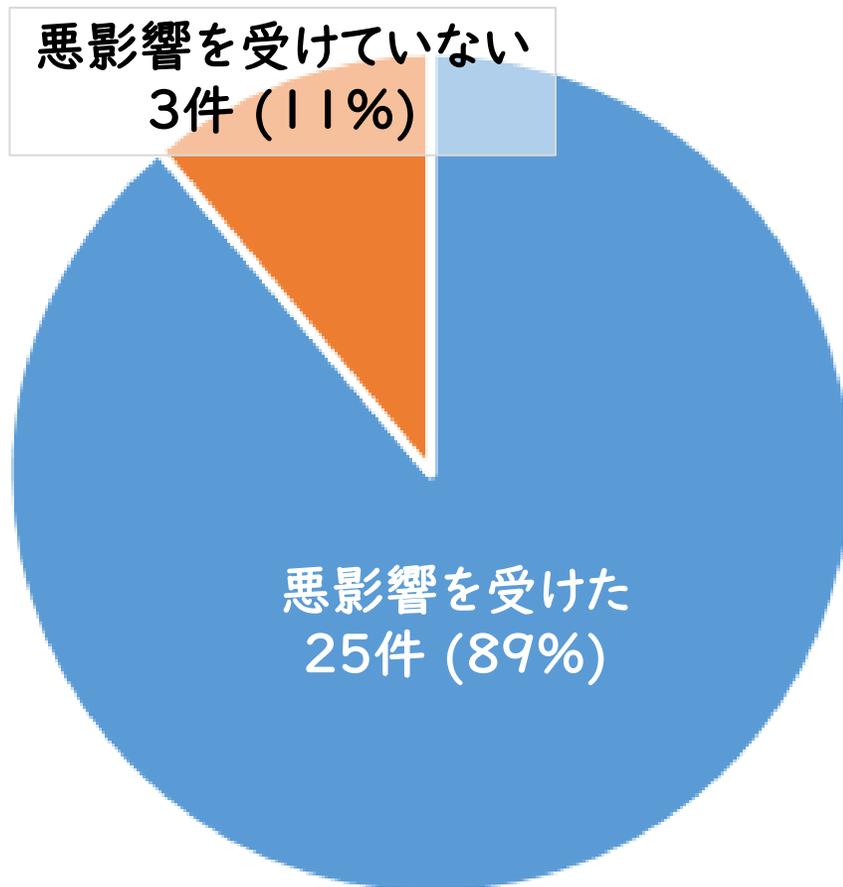
© 2021 Japan Water Forum



過去支援先へのアンケート 概要

- 目的: 今後の政策提言、情報発信の可能性を検討するため、JWFがこれまで実施してきた草の根活動の支援が、新型コロナの悪影響低減に寄与した事例の有無を調査する。
- 期間: 2021年6月1日~7月1日
- 対象: 36団体
2016年以降、JWFが草の根活動の支援で助成等を行った団体
- 回答数: 28件
- 回答率: 77%

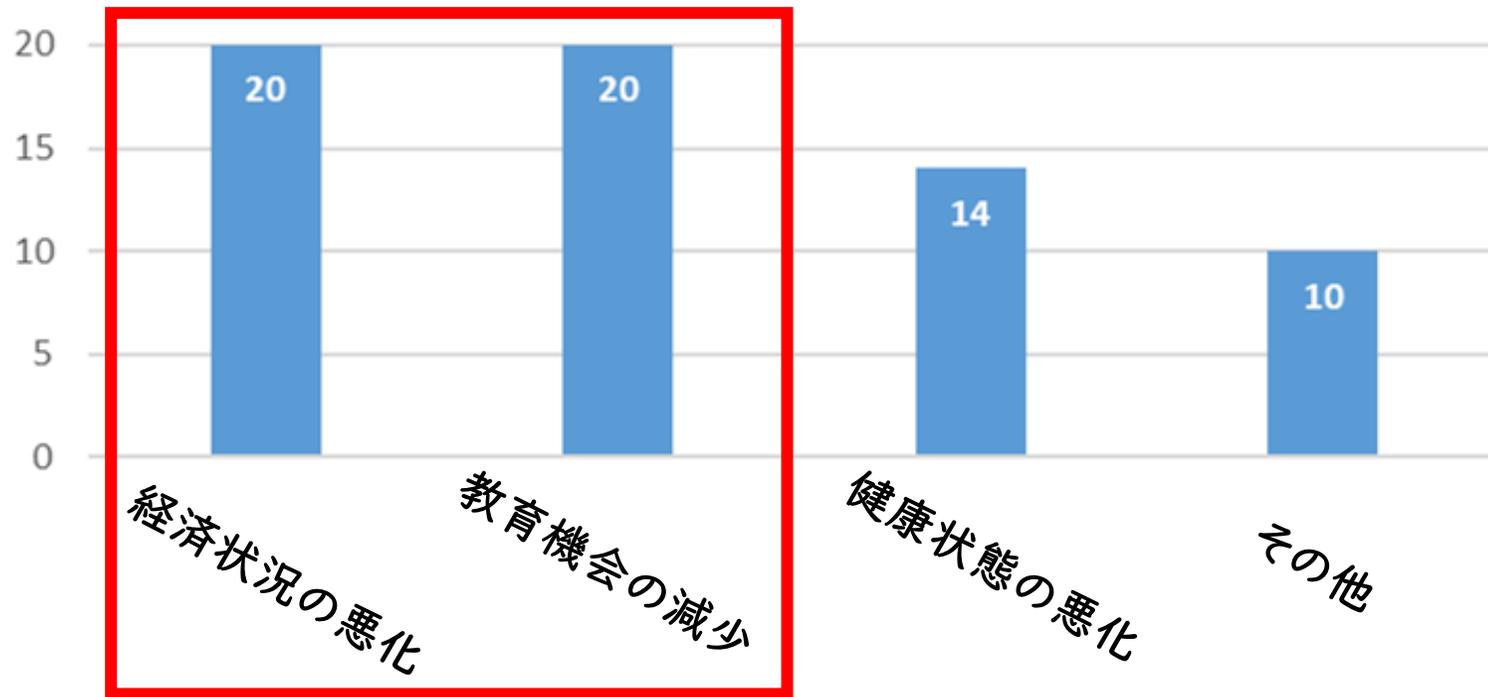
1. 新型コロナの悪影響の有無



農村部を中心とするプロジェクト実施地域において、**89%**が新型コロナによる悪影響を受けた。

Q1. プロジェクト実施地域では、
新型コロナによる悪影響があったか。
回答数：28件

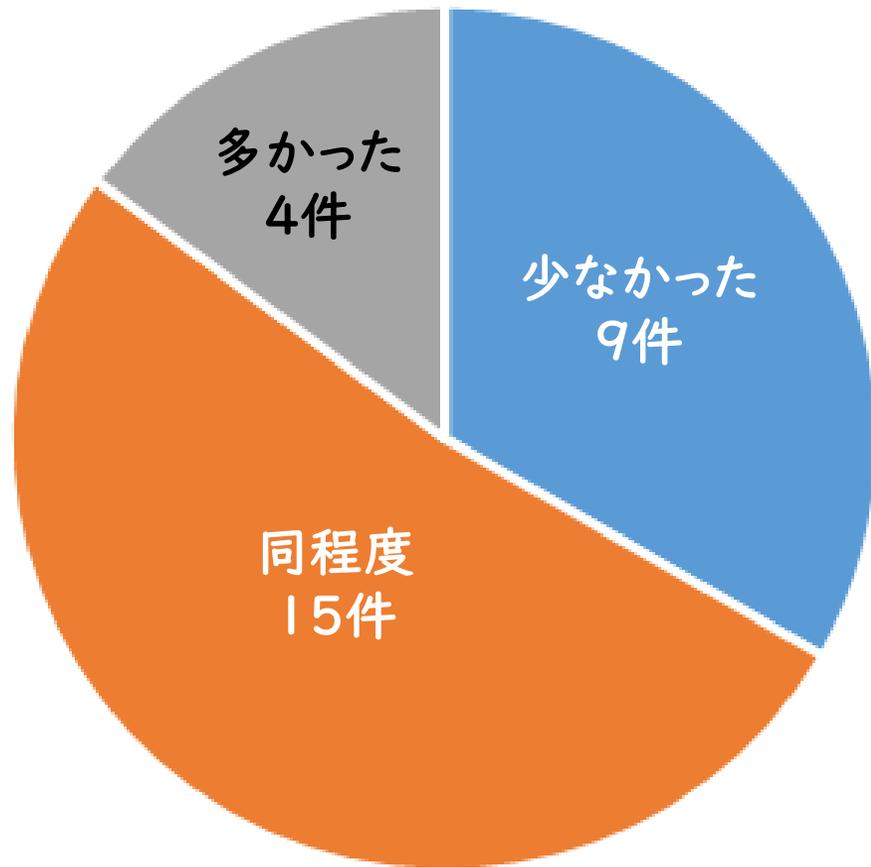
1-1. 新型コロナの悪影響を受けた項目



経済面と教育面への影響が多い結果となった。

Q1. で悪影響を受けた場合、当てはまるものをすべて選んでください。

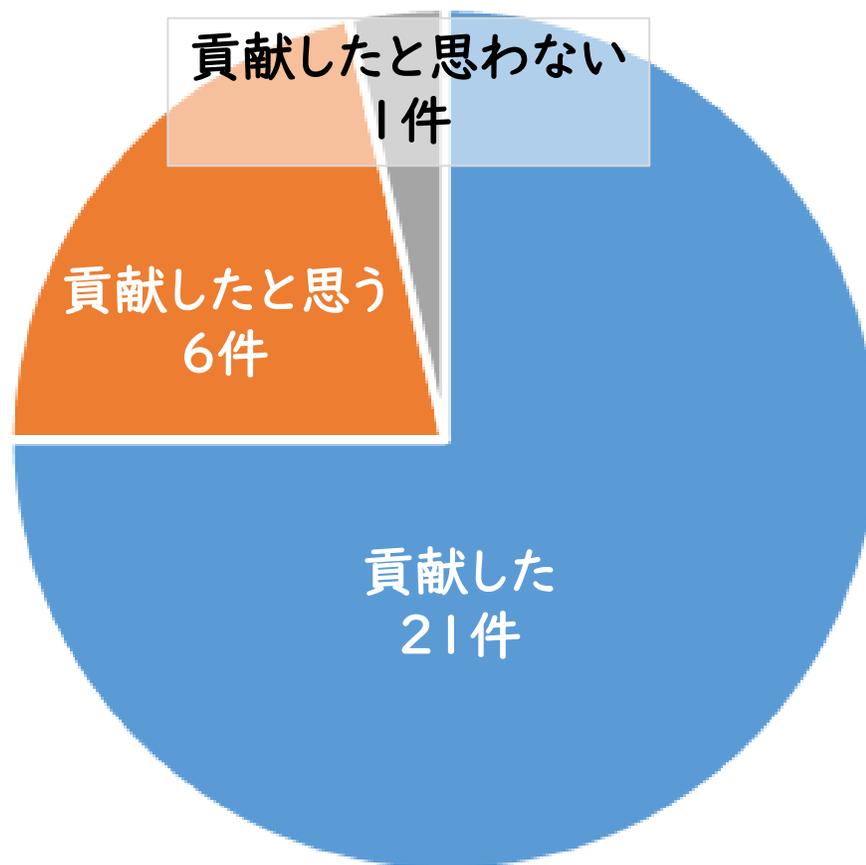
2. 新型コロナの悪影響の程度



プロジェクト実施地の約**半分**が
周辺地域と同程度の影響を受けた。

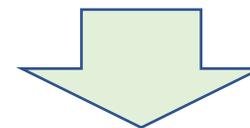
Q2.周辺地域と比べて悪影響の度合いはどうだったか
回答数：28件

3. 新型コロナの悪影響低減への貢献



ほぼすべての団体は、プロジェクト実施が新型コロナによる悪影響の低減に貢献した、貢献したと思うと回答した。その理由として多く挙げられていたのは**水と衛生**

- 安全な水を安定して得られる。
- 手洗い設備がある。
- 手洗いを含む水と衛生や健康の重要性を理解している。
(啓発活動、手洗い講習等を当時実施した)



手洗いの普及につながる要素

Q3. プロジェクトの実施が新型コロナの悪影響低減に貢献したと考えられるか
回答数：28件

3-1. 新型コロナの悪影響低減への貢献

経済面

- 農夫たちが野菜を育てられるようになり、自家消費を除く**余剰分を販売出来るようになった。**
(農業に関するプロジェクト)
- プロジェクトにより**生活に必要な野菜を育てることが出来た。**(トイレ建設に関するプロジェクト・同地域で家庭菜園の別プロジェクトが実施された)
- コロナ禍で職を失った女性が、水汲みの手伝いで**稼ぎを得ることが出来た。**
(飲み水に関するプロジェクト)

教育面

- 生徒たちは**学校**でトイレと手洗い設備を使用することが出来る。
(トイレ・手洗い設置に関するプロジェクト)
- COVID-19の予防と行動変容のための健康教育が増えた。**学校を含む**、世帯、地域レベルの水と衛生に関する問題の管理に関する健康教育が増えた。(トイレ建設に関するプロジェクト)